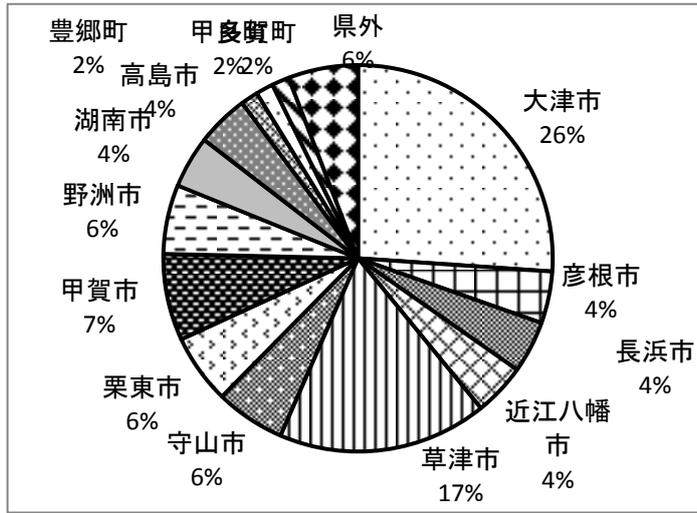


滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラム(南部会場)アンケート結果  
(参加者104名、回答69、回答率66.3%)

日時:令和元年7月15日(月・祝) 午後1時30分~4時00分

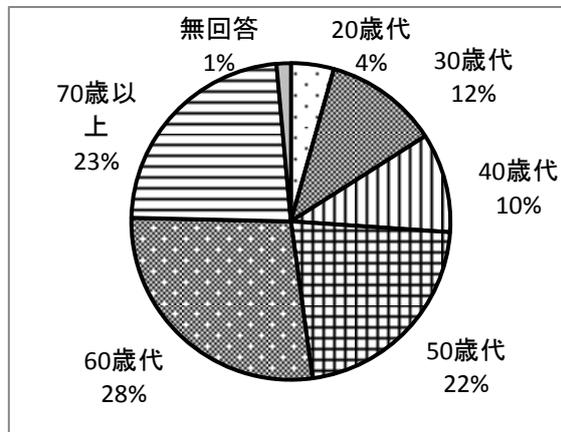
1. 参加者市町

大津市	18
彦根市	3
長浜市	3
近江八幡市	3
草津市	12
守山市	4
栗東市	4
甲賀市	5
野洲市	4
湖南市	3
高島市	3
豊郷町	1
甲良町	1
多賀町	1
県外	4
合計	69

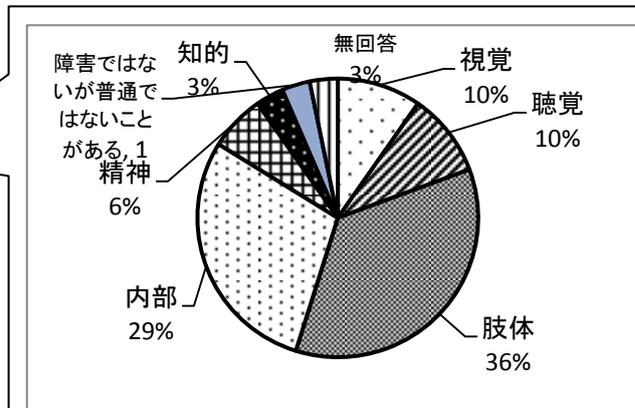
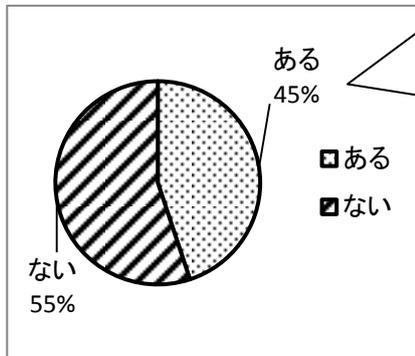


2. 参加者年齢

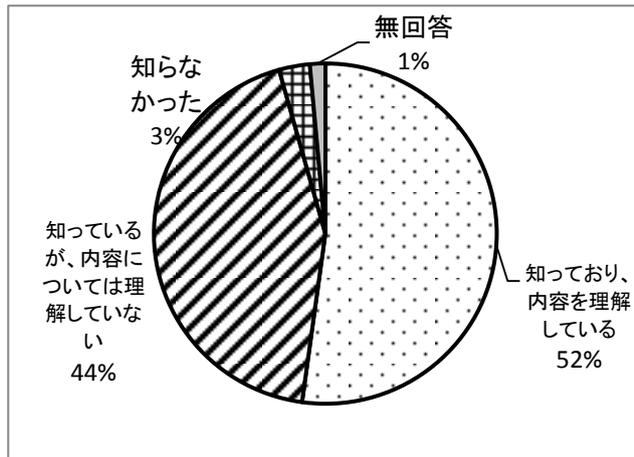
20歳代	3
30歳代	8
40歳代	7
50歳代	15
60歳代	19
70歳以上	16
無回答	1
合計	69



3. 障害の有無について

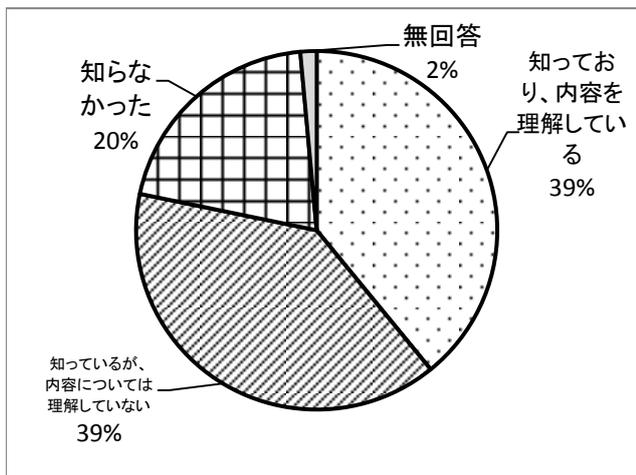


#### 4. 障害者差別解消法を知っていましたか。

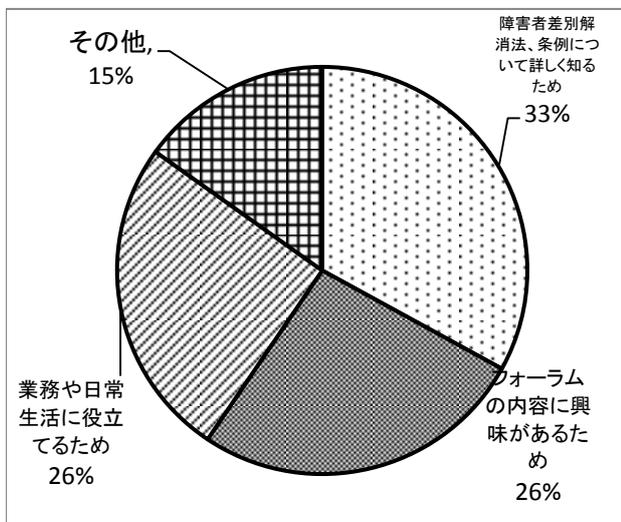


知っており、内容を理解している	36
知っているが、内容については理解していない	30
知らなかった	2
無回答	1

#### 5. 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例を知っていましたか。



知っており、内容を理解している	27
知っているが、内容については理解していない	27
知らなかった	14
無回答	1

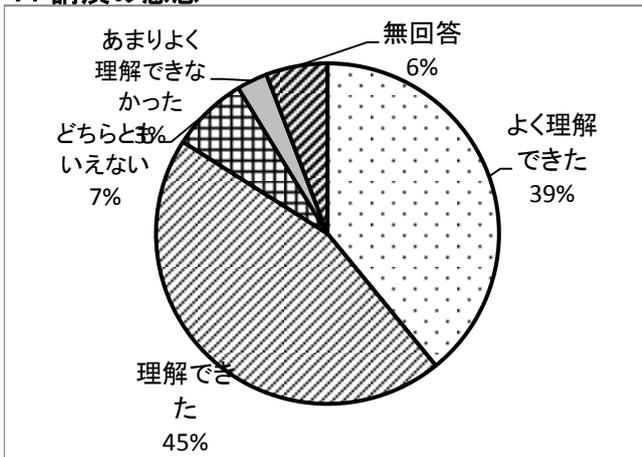


障害者差別解消法、条例について詳しく知るため	35
フォーラムの内容に興味があるため	28
業務や日常生活に役立っているため	27
その他	16

#### 【その他の意見】

- ・相談員研修(8)
- ・会社の命令
- ・市障害福祉課に案内があった
- ・社会への広げ方を学ぶため
- ・手話通訳を見たかった
- ・小学生の時に悩んだ経験があったため
- ・勉強が必要

## 7. 講演の感想



よく理解できた	27
理解できた	31
どちらともいえない	5
あまりよく理解できなかった	2
理解できなかった	0
無回答	4

### 【主な意見】

・「障害の社会モデル」の考え方が、今回のお話を聞いて、やっと理解できたような気がする。合理的配慮は、特別なものではなく、社会が配慮すべきことだと思う。

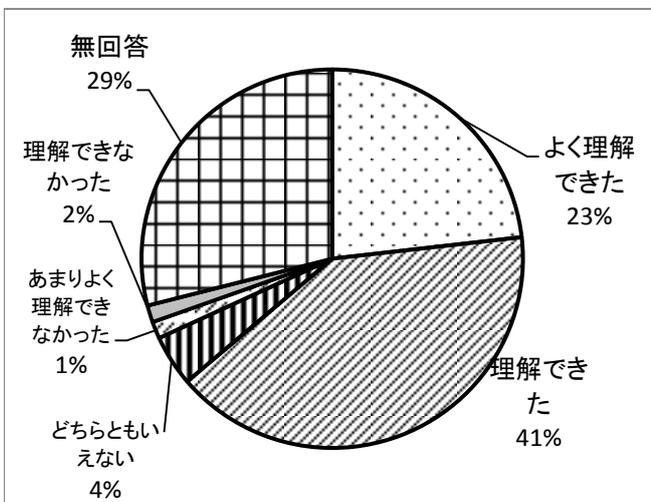
・意思決定支援の積み重ねに感動しました。気持ちを出す側と受け取る側が、自分らしく生きる姿を実現されているように思った。尾上氏の講演は、障害を他人事にせず、周囲を巻き込むエネルギーを感じた。

・「障害の社会モデル」について、言葉の定義としては理解しているつもりだったが、「障害はだれにでもある」という例を示しながらの講演を聞き、より深く理解することができた。

・一人ひとりの意見を大事に、生活を営む上で、様々な場面でこういったことができるか考えることが重要だと思う。

・差別解消法の内容も含めながらの説明だったので、より分かりやすかった。障害の社会モデルについても具体的な事例を使って説明してもらい、大変分かりやすかった。

## 8. シンポジウムの感想



よく理解できた	16
理解できた	28
どちらともいえない	3
あまりよく理解できなかった	1
理解できなかった	1
無回答	20

### 【主な意見】

・ご本人も支援者の方もたくさん悩んでたくさん笑って過ごしておられる様子が伝わってきた。共に生きる、自己実現をするというのは、こういうことかなと感じた。言葉では簡単に言えるが、生きた実践、生活を話してもらい大変考えさせられた。

・北村佳那子さんの思いを大切に、様々な体験や生活を支えられていることをすばらしいと思った。一人ひとりの意見を大切に様々な場面でできることを考え、配慮することが大事だと感じた。

・北村佳那子さんのこれまでの歩みを知ることができ、共生社会の実現に対して真摯に向き合っている姿を感じた。また、「チームかなこ」として山崎秀子さんが家族のように接している姿勢に心打たれた。

・チームかなこ(北村佳那子さん)の頑張りや生き方が正に差別のない共生社会づくりのモデルだと思う。家族さんはじめ、関わっておられる方々の協力に感動した。